



## 1月12日 市町村広報コンクール

### 広報しょうわ 2年連続の県最高賞

群馬県が主催する市町村広報コンクールの審査が行われ、広報しょうわ12月号が広報紙部門・町村の部で2年連続となる最高賞「一席」を受賞しました。これにより、全国広報コンクールに推薦されることになりました。

本号では「やさしい王国」の恵み、と題した農業の特集を掲載。審査員から

は「特集は読み応えがあり、村の魅力が大変よく伝わってきた。写真を駆使してビジュアルに配慮した紙面で、人物を丁寧に扱っている」との講評をいただきました。この受賞は村民の皆さんのご協力あってのものであります。心から感謝いたします。



### コンクール審査結果

#### 広報紙部門

##### ◆町村の部

- 一席 広報しょうわ 12月号※
- 二席 広報おうら 11月1日号
- 三席 広報ちよだ 7月号

##### ◆市の部

- 一席 広報ぬまた 11月1日号※
- 二席 広報まえばし 7月号
- 三席 広報高崎 10月15日号

※全国広報コンクール(日本広報協会)に推薦されます。市の部で一席となった沼田市とともに北毛勢がそろって全国へ。



一席を受賞した12月号



### 12月18日 しょうわ子ども教室・週末体験 みんなでクリスマスの花いけ

しょうわ子ども教室・週末体験の「みんなでクリスマスの花をいけよう！」が村公民館大会議室で開かれました。

この日は、池坊なでしこ会の綿貫美智子さん(森下中)を講師に招き、美しい冬の花を使ったキャンドルリースづくりに挑戦。クジャクヒバやコニファー、バラや松ぼっくりなど、冬を象徴する花材が用意されました。参加者は、綿貫さんの指導を受けながら、思い思いに花いけを楽しんでいました。



参加した方々と完成したキャンドルリース



### 11月9日 イプシロンロケット打ち上げ成功 ノガミモーター宇宙へ

イプシロンロケット5号機に、野上正和さん(鎌沢)が発明した「ノガミモーター」が搭載され、地球上空の軌道を飛んでいます。このモーターは、群馬工業高等専門学校の協力で実用化され、国立高専初の超小型衛星「KOUS EN-1」として実証実験されているもの。画像を基に衛星自身のズレを割り出して姿勢を制御する技術です。野上さんは「私の発明した技術で世界に貢献することは夢でした。多くの方々の協力で宇宙に挑戦でき、今後は楽しみです」と話していました。



野上さんの技術が生かされた姿勢制御装置



ニュース・トピックスでは、村の出来事や話題など昭和村の「今」をお知らせします。



## 1月8日 昭和村消防団出初式 地域防災への気持ち新たに

昭和村消防団(金井真一団長)の出初式が村多目的屋内運動場で行われました。式典では、堤村長が「自然災害や火災には日頃からの備えが重要。今後も引き続き皆様のご協力をお願いします」と式辞。続いて、金井団長は「コロナ禍が続いていますが、村では昨年、土砂災害が発生しています。災害時には団員の皆さんの力が必要ですが、まずは健康に十分留意してください」とあいさつしました。団員は出席者からの激励を受け、今年一年の決意を新たにしていました。



決意を新たにする消防団員と金井団長



## 12月21日 県青年農業士認定証書授与式 若手農業者のリーダーを認定

若い農業者の実践的リーダーを認定する、青年農業士認定証書授与式が利根沼田振興局で開かれました。今年度、認定証を授与されたのは林宗一郎さんと林洋平さん(ともに生越)。青年農業士は、将来の経営発展が期待でき、地域の農業振興活動に参画できる若手の農業者が認定されています。

認定された林洋平さんは「認定証をいただき光栄です。これからも、自分にできることを精いっぱい取り組んでいきたい」と思いを述べました。



認定証を授与された林洋平さん



## 1月13日 東小学校 思い新たに書き初め

新年の伝統行事である書き初めが村内各小中学校で行われ、児童生徒が取り組みました。

東小学校では、1・2年生が硬筆、3年生以上が毛筆で書写を行いました。毛筆を指導したのは、学校支援ボランティアで川龍寺副住職の河野太一さん(滝久保)。子どもたちは、一文字ずつ真剣に筆を運んでいました。飯塚由璃菜さん(滝寺)は「気合いを込めて丁寧に書きました。特に一枚目に書いたものが集中できました」と話していました。



毛筆を指導した河野さん(右上)と6年生



## 1月10日 新年賀詞交歓会 新年の訪れを祝う

新年の訪れを祝う賀詞交歓会が、行政関係者や村内企業・各団体の関係者を招いて、村公民館で開催されました。今年は新型コロナウイルスの感染拡大がつづいているため、感染症対策をとって行われました。

式典では、堤村長のあいさつをはじめ村議会の藤井議長ら来賓の方々より祝辞が述べられ、穏やかな新年の訪れを祝いました。

会場では、生越太鼓の皆さんによる見事な和太鼓演奏が披露され、式典に華を添えていました。



万歳三唱する参加者